

## 令和4年度 児童発達支援センターバンビ事業報告

### 1 基本方針

児童発達支援センターバンビは、「児童一人ひとりに対する丁寧な「根拠」ある療育」、「南区の中核的療育支援センターとしての役割」、「福祉施設としての地域への貢献」を理念とし、療育基本指針を策定して児童発達支援に努めた。また相模原療育園発達外来、診療部リハビリテーションと連携を図り、園児の発達を促す取り組みを実施した。付帯事業である保育所等訪問支援事業については、契約園児の所属する保育園、幼稚園、こども園に訪問し、障害特性による個別的配慮やアドバイス等を行い、十分に連携を取ることができるよう支援に努めた。

### 2 児童発達支援

#### 1) 概要

児童発達支援は、毎日通園・週一通園（保育園、幼稚園、こども園との並行通園で週に一回一日）の混合が5グループで行った。園児数は4月に毎日通園37名、週一通園26名、計63名の在籍となった。

療育時間は、10時～14時30分とし、年度初め（4月1日）夏休み（8月10日・12日）年末年始（12月29日～1月4日）と年度末（3月29日～31日）以外は通園を実施した。

療育は、バンビの理念に基づいた療育基本指針「地域で自分らしく生活するために、乳幼児期から基本的な生活習慣を身につけられるように、保護者の方と共に療育を行う」「小集団の良さを活かしながらいろいろな環境への適応力を育て、生活力を養う」「一人ひとりの支援計画を作成し、相模原療育園の医療スタッフと連携しながら、全職員と保護者の方と力を合わせて発達を促す関わりに取り組む」に沿って実施した。

#### 2) 毎日通園

##### (1) 園児数

きりん組8名、くま組8名、うさぎ組8名、らいおん組7名、りす組6名の計37名であった。

##### 【年齢別内訳】

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男児	0	0	5	12	11
女児	0	0	3	3	3
計(名)	0	0	8	15	14

##### (2) 個別支援計画

保護者との面談を年3回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

##### (3) 療育プログラムなど

①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(月案、週案)を作成した。小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じたり自信をもつことにつながったりする療育活動を行った。

②一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。

③行事は季節の行事や伝統行事を大切にし、感性豊かな育みを目指した。今年度実施した行事は以下の通りである。

- ・ 4月4日 入園式、始業式
- ・ 7月7日 たなばた
- ・ 7月21日 夏祭り
- ・ 10月24・26・27日 運動会※1
- ・ 11月14・16・17日 園外療育(トイパーク・リトルプラネット イトヨーカドー大和鶴間店 3F)※2
- ・ 12月23日 クリスマス会
- ・ 1月25・26・30日 おたのしみ会※3
- ・ 2月3日 節分、豆まき
- ・ 3月3日 ひなまつり
- ・ 3月14～18日 卒園セレモニー
- ・ 3月28日 卒園式、終業式

※1 運動会 24日 AM きりん 26日 AM りす PM うさぎ 27日 AM らいおん PM くま

※2 園外療育 14日 きりん 16日 うさぎ・りす 17日 くま・らいおん

※3 おたのしみ会 25日 AM うさぎ・PM らいおん 26日 AM くま・PM りす 30日 PM  
きりん

○相武台保育園との交流活動(さくらんぼ交流)については、年間計画で予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となった。

- ④栄養管理計画に基づき、子どもにとって最も相応しい食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に合った食事形態を工夫するために、委託業者と定期的に「給食会議」を開いた。必要に応じて環境の設定や摂食の評価をし、支援につなげた。
- ⑤毎日通園卒園児は地域の小学校と小学部への就学を合わせて14名であった。卒園式は3月28日午前に行った。

#### (4) 健康管理

園児の成長及び健康管理の把握のため、毎月の身体測定と年2回の内科、歯科健診を実施した。

春の健康診断 内科 5月26日 歯科 5月25日

秋の健康診断 内科 11月10日 歯科 11月11日

#### (5) 保護者支援

- ①療育参観・懇談会や行事への参加及び子育て講座、ペアレントトレーニングや相談等を実施した。
- ②保護者からの相談は随時受け付け、困りごとや悩み等は職員(園長・児童発達支援管理責任者・担任)及び『Dr. 細田の育児相談』、吉田臨床心理士による相談などに応えられるようにした。

### 3) 週一通園

#### (1) 園児数

週一通園 26名の受け入れで療育を行った。

【年齢別内訳】

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男児	0	0	7	9	6
女児	0	0	0	2	2
計(名)	0	0	7	11	8

(2) 個別支援計画

保護者との面談を年3回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

(3) 療育プログラムなど

①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(月案、週案)を作成し、小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じたり自信をもつことにつなげたりする療育活動を行った。

②一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。

③季節の行事や伝統的な行事を大切に、感性豊かな育みを目指した。今年度実施した行事は以下の通りである。

- ・ 7月7日 たなばた
- ・ 12月23日 クリスマス会
- ・ 2月3日 節分、豆まき
- ・ 3月3日 ひなまつり

④栄養管理計画に基づき、子どもにとって最も相応しい食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に合った食事形態を工夫した。また、必要に応じて環境の設定や摂食の評価をし、支援につなげた。

⑤卒園児は地域の小学校への就学が8名であった。週一通園卒園児は最後の登園日にクラスの仲間に祝福されて、保護者同伴で園長より卒園証書の授与が行われた。

(4) 健康管理

園児の成長及び健康管理は所属園に依頼し、必要に応じて連携をとった。

(5) 保護者支援

①保護者は毎月、療育参観・話し合い、子育て講座やペアレントトレーニングや相談等を実施した。

②保護者からの相談は随時受け付け、困りごとや悩み等は職員(園長・児童発達支援管理責任者・担任)及び『Dr. 細田の育児相談』、吉田臨床心理士による相談などに応えられるようにした。

4) 各通園形態共通

(1) 相模原療育園発達外来との連携

療育、医療交流モデルの構築の中核事業として、相模原療育園診療部リハビリテーションとの定期的な連携を図り、療育の場面での効果的なサポートを受けた。また発達外

来医師と看護師、リハスタッフ、バンビ職員とバン療会議（バンビと相模原療育園担当者会議）を開催する予定であったが、今年も一堂に会することを避けリモートで情報交換等を行うこととなった。

さらに、統括施設長である細田先生のお力をお借りして、保護者の悩みを具体的に相談できる『Dr. 細田の育児相談』を開催させていただくことができ、保護者の安心につながった。また、子どもたちの状況を確認し、保護者の相談に応じるために臨床心理士による相談日を毎月2回ずつ設定し、保護者への周知も行った。

【リハスタッフ・訪問実績】

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		OT 1名	PT 1名	OT 1名	OT 1名	OT 1名 PT 1名	OT 1名	OT 1名	OT 1名

【臨床心理士訪問実績】各月の日にちを記載

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11, 25	11, 31	10, 16	7, 22	9, 31	5, 16	6, 24	9, 18	13, 21	13, 30	7, 22	10, 20

【Dr. 細田の育児相談】

5月	6月	7月	9月	12月	2月	3月
10日	14日	12日	13日	13日	14日	14日
1件	2件	1名	1件	1件	2件	1件

(2) 保護者支援

家庭生活での困り感や対処方法及び障害理解等について随時相談を受け付け、保護者の困りごとや悩み等に応えた。また子育て講座も開催した。もう少し保護者間での話し合いを取り入れる予定にしていたが、感染症対策のために十分な取り組みができない状況だった。

(3) 衛生管理

園内の美化に努め、衛生管理を徹底し、感染症予防の研修を園内で実施した。

また園児、職員及び近隣における要救護者に対する応急処置に対応するため、AEDの利用方法も周知した。

(4) 事故防止

園内の備品、危険個所を常にチェックし、事故防止に努めた。また事故発生時はマニュアルに沿った対応を実施した。

### 5) 出席率

各通園の出席率は次のとおりである。

#### (1) 毎日通園

単位：%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出席率	92.18	90.47	89.68	87.97	88.51	88.38	92.03
月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	
出席率	85.13	86.62	90.09	88.76	86.89	88.89	

#### (2) 週一通園

単位：%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出席率	85.71	90.38	78.85	78.95	79.09	75.96	83.65
月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	
出席率	79.17	75.96	77.88	83.65	88.71	81.50	

### 3 障害児相談支援

陽光園と連携して4回のシリーズで子育て講座が開催された。就学に関する質問や日常の育児についてなども随時相談に応じる体制を設けた。また家庭での育児方法や就園・就学先等の個々の相談には、各クラス担任等が対応した。

### 4 保育所等訪問支援

#### 1) 総括

- (1) 在園児を対象とした幼稚園・こども園・保育所への訪問は、週一クラス希望家庭で契約25名（年長児8名、年中児10名、年少児7）であった。
- (2) 週一クラス在園児の訪問はクラス担任が中心となつて行ない、所属園での生活の様子を観察後、所属園の担任との情報交換及び集団生活上の留意点や障害特性による個別的配慮へのアドバイスなど必要な支援を行った。
- (3) 週一クラス在園児の所属園への訪問回数は2回程度を目標としたが感染症の影響もあり、急遽感染者が出ると訪問を中止したり、所属園で感染症の発生により訪問ができなかったりすることがあった。

#### 2) 個別支援計画

保護者との面談により意向・要望等の意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成し、計画実施後評価を行った。訪問での様子や所属園との連携の姿等を訪問後に直接保護者との連絡や話し合いで伝えることができた。

#### 3) 訪問実績（件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計（件）
0	0	0	14	2	2	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	53
4	2	8	1	12	8	

### 5 施設地域開放・交流

学生の就職活動にもつながる学びの場として、各大学等の保育実習の受け入れを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保育実習前の健康状態の管理を本人並びに大学

に依頼するなど、感染防止に最大限配慮した。さらに本人及び大学側から感染症の拡大状況を鑑みて、保育実習を取りやめる学校があったり、バンビが感染症による休園となり、実習期間を変更したりする学校もあった。

【実習生等】

期 間	内 容	学校名	人 数
8月16日～8月31日	保育実習	桜美林大学	1
9月1日～9月16日	保育実習	鎌倉女子短期大学	2
9月27日～9月28日	看護実習	北里大学	2
10月4日～10月5日	看護実習	北里大学	2
10月17日～10月28日	保育実習	洗足こども短期大学	2
12月5日～12月16日	保育実習	洗足こども短期大学	2
1月16日～1月17日	看護実習	北里大学	2
1月24日～1月25日	看護実習	北里大学	2
1月30日～2月14日	保育実習	和光大学	2
2月20日～3月6日	保育実習	湘北短期大学	2
3月8日～3月24日	保育実習	相模女子大学	2

6 施設管理

1) 防火・防災

(1) 不時の災害に的確に対応するため、防災対策マニュアルに基づき月1回の避難訓練を実施し、また防災機器の点検を行った。消防署との合同訓練で、通報訓練・園児の避難・消火訓練も実施した。

通報訓練 令和4年8月29日(月) 14:40～14:50

令和4年11月15日(火) 16:20～16:30

消火訓練 令和4年8月29日(月) 14:30～15:00

総合訓練 令和4年11月15日(火) 10:30～11:00

(2) 災害時の食糧は、園児(定員40名分)、職員分として3日分備蓄した。

(3) 避難訓練、防災訓練実績

実施日	訓練想定	実施日	訓練想定
4月28日	クラスでまとまって活動中の地震・出火(昼食後)	10月末日	散歩中に地震が発生。その場で待機 避難・連絡 避難場所 バンビ駐車場 若草中学校 校庭 他
5月12日	クラスでまとまって活動中の地震・出火(午前)	11月15日	クラスがまとまって活動している時の地震・火災 テラスを通過して遊戯室へ移動
6月9日	クラスが分かれて活動しているときの地震・出火	12月12日	2階で活動をしている時の地震・出火(きりん・り)

	(午後)		す)。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
7月25日	クラスが分かれて活動している時の地震・出火 園舎内を通過して玄関ホールに移動	1月24日	2階で活動をしている時の地震・出火(くま・うさぎ・らいおん)。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
8月 22・23・24・ 25・26日	バス運行中の地震 バス内での安全確保と園への連絡	2月7日	静養室からの出火。延焼が広がり若草中学校へ全員避難
9月16日	クラスがまとまって活動している時の地震・出火、 テラスを通過して玄関ホールへ移動	3月末日	2階個別訓練室1から出火 クラスごとに適切な経路で園庭門扉前に移動

## 2) 防犯

不審者の侵入などに対し、防犯訓練を実施するとともに、施設内不審者侵入防止に努めた。

### (1) 不審者訓練

日 時	研修・訓練	場 所
2月22日	不審者対策・相模原南警察との連携	バンビ園庭から園舎内

### (2) 行方不明等事故管理対策マニュアル

昨年修正した地図の見直しを行い加筆修正した。

## 7 職員教育

職場内研修やケース会議を定期的に行い、また、外部研修に職員を派遣し、児童発達支援の知識、質の向上を図ることを目的とした。今年度も職場内での研修を中心にを行い療育の幅を広げるために週案作成のためのミーティングを実施し、より多くの実践を進めることができた。また、書籍の定期購入も進め、職員の研鑽の場を積むことができた。

### (1) 職場内研修

月 日	内 容	参加人数
3月31日	年度初め研修会 児童発達支援センターバンビのめざすもの 具体的な支援方法	18名
4月1日	療育マニュアルについて バスキャッチの使い方	10名
4月5日	避難経路について セキュリティ研修	10名
4月6日	活動計画と週案作成	10名
4月28日	救助袋訓練	10名
6月28日	防災について(火災報知機の扱い・不審者対応)	11名

6月29日	保育所等訪問事業について	10名
8月8日	接遇マナーについて	10名
3月31日	自閉症スペクトラム障害を理解する	22名

(2) 外部研修

実施月	研修名	講師	参加者
6月2日	ゆたかなコミュニケーションのために	陽光園 言語聴覚士 佐藤久美子	園長・ 保育士
1月11日	組織づくりとしてのメンタルヘルスを考えよう	相模原市基幹相談支援センター・福祉研修センター	園長
1月18日	介護・障害福祉サービス事業所のためのBCP策定研修	相模原市福祉基盤課 総務・育成班	園長

8 相談支援事業所アウル事業

1) 利用者状況

(1) 相談支援を利用した人数と障害種別

(単位：人)

	実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		発達障害		その他	
	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児
4月	24	68	3	1	14	12	2	2	5	53	0	0
5月	15	52	3	2	5	15	2	5	3	31	0	0
6月	24	49	3	0	15	10	3	4	3	35	1	0
7月	27	63	1	1	18	18	2	6	5	38	1	0
8月	22	60	2	4	9	6	5	2	6	48	0	0
9月	24	54	4	2	11	5	4	3	5	44	0	0
10月	15	47	2	0	7	7	3	1	3	39	0	0
11月	9	54	2	1	1	10	4	5	2	38	0	0
12月	15	52	1	1	9	11	2	4	2	36	1	0
1月	16	61	3	2	5	14	1	4	6	41	1	0
2月	19	60	3	1	8	7	3	3	5	49	0	0
3月	25	68	3	3	13	11	3	3	6	51	0	0
小計	235	688	30	18	115	126	34	42	51	503	4	0
総計	923		48		241		76		554		4	

(2) 支援方法

(単位：件)

訪問	217
来所相談	455
電話相談	139
電子メール	2
個別支援会議等	3



関係機関	18
その他	89
合計	923

(3) 支援（相談）内容 (単位：件)

福祉サービスの利用に関する支援	882
障害や病状の理解に関する支援	1
健康・医療に関する支援	1
不安の解消・情緒安定に関する支援	1
保育・教育に関する支援	7
その他	31
合計	923

(4) 対応結果 (単位：件)

聞き取り	350
モニタリング	522
情報提供・収集	10
他機関紹介	5
代行	68
アセスメント	4
緊急対応	1
不安の解消	1
見守り・状況確認	3
連絡調整	18
その他	7
合計	989

(5) 利用実績（支援費受領件数） (単位：件)

	障害者			障害児		
	計画案・計画	モニタリング	計	計画案・計画	モニタリング	計
4月	21	14	35	37	35	72
5月	6	11	17	13	35	48
6月	5	19	24	16	34	50
7月	2	24	26	30	41	71
8月	4	16	20	22	44	66
9月	3	19	22	31	42	73
10月	2	12	14	13	29	42
11月	3	8	11	24	32	56
12月	5	12	17	22	34	56
1月	2	32	34	17	44	61

2月	9	18	27	21	42	63
3月	6	26	32	18	50	68
総計	68	211	279	264	462	726

## 2) 地域連携等

### (1) 個別支援検討会議等

日 時	会 議 名	主催・場所
5月9日	ケース会議	谷口台小学校
6月6日	ケース会議	アウル
6月15日	ケース会議	相模原養護学校
6月30日	ケース会議	アウル
7月26日	移行支援会議	座間養護学校
8月10日	担当者会議	相模原療育園
9月8日	ケース会議	アウル
10月3日	ケース会議	きらら
10月19日	ケース会議	アウル
11月9日	ケース会議	相模原養護学校
11月14日	ケース会議	中央小学校
11月15日	ケース会議	新磯小学校
12月12日	ケース会議	大野小学校
1月17日	移行支援会議	相模原中央支援学校
2月14日	ケース会議	相模原中央支援学校
2月28日	担当者会議	ウエルネス
3月16日	移行支援会議	相模原中央支援学校
3月22日	移行支援会議	相模原中央支援学校

### (2) 自立支援協議会等

日 時	会 議 名	主催・場所
4月19日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB 会議
5月11日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB 会議
6月10日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター
6月14日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB 会議
7月13日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB 会議
8月5日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター

8月9日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB会議
9月14日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB会議
10月11日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB会議
10月25日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター
1月31日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター

(3) 研修等

開催月	研修名	実施主体	参加者
7月27日	強度高度障害の「予防的支援研修」	県委託藤沢育成会	1名
12月5日	医療安全・感染対策研修	相模原療育園	1名
2月13日	障害者虐待防止法の理解	相模原療育園	3名